

第9回東アジア数学教育国際会議EARCOME 9のご案内

－ 渉外部便り －

東アジア数学教育国際会議（East Asia Regional Conference on Mathematics Education：略称EARCOME）は、数学教育国際委員会（ICMI）の地域会議で、数年おきに開かれています。2018年（第8回）には台湾で、2015年（第7回）にはフィリピンで、2010年（第5回）には日本の国立オリンピック記念青少年総合センターで開催されてきました。

さて、2025年7月にEARCOME 9が韓国で開催される予定です。その第一次案内が、ウェブサイト (<https://www.earcome9.org/>) に掲載されています。本稿では、その全体的な概要をお知らせします。分科会、ポスターセッション等の申し込み締め切りが、2025年2月1日までと迫っておりますので、ご関心のある方はどうかお早めにご準備いただければと思います。

1. 会場と日程等

場所：大韓民国始興市

会場：ソウル大学始興キャンパス（Seoul National University, Siheung Campus）

国際プログラム委員長：Oh Nam Kwon氏（ソウル大学）

日本からは、小山正孝氏（広島大学）が、IPC委員に選出されています。

日程：2025年7月18日（金）から22日（火）までの5日間

2. 会議のテーマと内容

会議の全体テーマは、「デジタル・トランスフォーメーションの時代における数学教育の本質を再考する」(Re：Visiting the Essence of Mathematics Education in the Era of Digital Transformation) です。このテーマは、27年前に韓国において開催されたEARCOME 1のテーマであった「東アジアにおける数学教育の本質とは何か」(What is the essence of mathematics education in East Asia?)と関連しています。年月が経過した現在、デジタル・トランスフォーメーションという大きな変化の中で、数学教育の本質がどのように変わり、また変わらないのかを検証することに焦点を当てています。

会議は、全体講演（Plenary Lectures）、招待講演（Invited Lectures）、トピックスタディーグループ（Topic Study Groups）、ワーキンググループ（Working Groups）、特別共有グループ（Special Sharing Groups）、ポスター発表（Poster Presentation）が予定されています。公用語は英語です。

トピックスタディーグループ（Topic Study Groups）では、以下に示されたテーマごとに発表や討議が行われることになっています。日本からは、下記の方々、当該分科会の座長または共同座長として貢献されます。

- ・カリキュラム及び教材における数学教育の本質（The Essence of Mathematics Education in Curriculum and Materials）
- ・授業実践における数学教育の本質（The Essence of Mathematics Education in Classroom Practice）
座長：日野圭子氏（宇都宮大学）、共同座長：小松孝太郎氏（筑波大学）
- ・学習評価における数学教育の本質（The Essence of Mathematics Education in Assessment and Evaluation）
- ・教師教育における数学教育の本質（The Essence of Mathematics Teacher Education）
座長：宮川健氏（早稲田大学）
- ・学習と認知における数学教育の本質（The Essence of Mathematics Education in Learning and Cognition）
- ・デジタル技術の活用における数学教育の本質（The Essence of Mathematics Education in the Use of Digital Technology）

- ・ 情動面・感情面における数学教育 (The Essence of Mathematics Education in Affective and Emotional aspects)
共同座長：二宮裕之氏 (埼玉大学)
- ・ 公平性と文化に基づく数学教育の本質 (The Essence of Mathematics Education with Equity and Culture)
共同座長：馬場卓也氏 (広島大学)
- ・ 大学段階における数学教育の本質 (The Essence of Mathematics Education in Undergraduate Level)
共同座長：溝口達也氏 (鳥取大学)
- ・ STEM/STEAM教育の本質 (The Essence of STE(A)M Education)

3. 主な投稿規定

トピックスタディーグループ (Topic Study Groups) での発表希望の場合は4頁以内, ポスター発表 (Poster Presentations) の場合は2頁以内です. ウェブサイトに準備されているテンプレートを使用する必要があります.

4. 主な締切と参加費

(1) 分科会での発表・ポスター発表の申し込み等の日程

2025年2月1日まで: 分科会での発表・ポスター発表申込受付期限

2025年3月31日まで: レビュー, 採択決定通知

2025年4月30日まで: 修正版の提出期限

(2) 参加費

2025年2月28日まで (Early Bird): 450USD

2025年3月31日まで (Standard): 480USD

2025年7月1日以降 (Onsite): 550USD

小泉健輔 (渉外部常任幹事, 横浜国立大学), 池田敏和 (渉外部長, 横浜国立大学)